

## IOS(包括的矯正歯科研究会)発足記念&2021年 第一回例会 抄録

近年、矯正治療を含めた包括的歯科治療の重要性が示唆されてきている。各専門分野と矯正治療の融合は、治療のゴールを良好な結果に導く可能性があり、矯正治療をどのように組み合わせると最適であるかを考えるべきである。一方で、矯正治療は歯にダメージを与える側面もあることから入念な診査診断・治療計画が必須となる。矯正治療と各分野の融合に関する学術論文やエビデンスは世界的に見ても不足しているため、矯正専門医と各専門医・GPがタッグを組み、日本からコンセンサスを示していく必要があると考えている。IOS初となる本会では、急速に普及してきているアライナー矯正と矯正治療・歯周治療の融合について皆様と一緒に検証していきたい。

大会長 行田 長隆

### 教育講演1 10:50-11:50

演者 南保 友樹 先生 , 綿引 淳一 先生

#### アライナー矯正の2つの顔を検証する

#### 我々は、アライナー矯正とどう向き合うべきか？

近年、インビザラインをはじめとするマウスピース型矯正装置の認知度が上がり、マウスピースを使用した矯正治療を行う患者が急増している。

マウスピース矯正は、矯正専門医以外の一般歯科医にとっても比較的容易に自院の治療内容に導入しやすい反面、その作用を十分に理解出来ていないまま治療を進めた結果、期待された治療結果が得られずにトラブルになるケースも少なくない。

また、その普及率に反して、エビデンスレベルでの検証、評価、議論を公平に行っている勉強会は少なく、臨床医各々の感覚と独断により治療を進めていることが多い。

そこで本講演では、マウスピース矯正に関して近年発表されている論文をベースに、マウスピース型矯正装置の使用による利点・欠点、治療結果の評価、従来のワイヤー矯正との比較、等をエビデンスに基づく客観的な視点から整理したい。さらに、我々IOS が現時点で考えているマウスピース型矯正装置の使用法方や立ち位置をコンセンサスとして提唱したい。

(略歴)

南保友樹 先生

2005年 昭和大学 歯学部 卒業

2006年 昭和大学歯科矯正学講座 入局

2010年 昭和大学歯学部大学院 歯科矯正学博士課程修了 歯学博士取得

2013年 なんぼ歯科クリニック新百合ヶ丘 開院

(所属)

包括的矯正歯科研究会 (IOS), Teeth Alignment The Specialist (会長)

日本矯正歯科学会 (認定医)

## 歯周矯正の2つの顔を検証する

### 矯正治療と歯周治療の融合は歯科治療に新たな価値を見出すことができるか？

歯肉退縮とは何だろうか。歯周疾患としては日常的によく見る病態ではあるが、矯正治療の合併症と捉えると視点が変わる。

近年、矯正治療はインビザラインに代表されるマウスピース矯正や矯正用アンカースクリューを活用した部分矯正など、矯正専門医以外の歯科医師にとって確実に導入へのハードルが低くなり、認知度が上昇している。一方で普及にともない様々な問題点が明らかになって来ている。

最も大きな問題の一つが、矯正治療によって引き起こされる歯肉退縮であろう。

今回の教育講演では、合併症とされる歯肉退縮に対し、ここ最近発表された論文を軸にエビデンスを整理し歯周治療と矯正治療の二つの側面から異なった光を当て、今までとは違った視点であぶり出してみたい。

そして成人矯正を行うにあたっての歯周組織の健康面とくに歯肉退縮にフォーカスした、我々IOS が提唱するコンセンサスを示したい。

#### (略歴)

笹生宗賢 先生

1998年 岩手医科大学歯学部卒

1998年 東京医科歯科大学歯科保存学第二講座(歯周病学)入局

2003年 東京医科歯科大学歯周病学分野退局

2005年 むね歯科クリニック(世田谷区)開設

#### (所属)

包括的矯正歯科研究会 (IOS) Central Member, 日本歯周病学会 (専門医),

日本口腔インプラント学会 (専門医), 日本顕微鏡歯科学会 , 日本成人矯正歯科学会

日本臨床歯科学会SJCD (東京支部)

## 会員発表1 14:30-15:15(ディスカッション含む)

演者 坂本 耕一 先生 座長 市川 雄大 先生

### デュアルインサイザルエッジポジションを用いた 上顎前突抜歯症例の治療計画

「木を見て森を見ず」の意味は、「細かいことにこだわりすぎて、大きく全体や本質を掴まないこと」である。

我々一般開業医は、科学的根拠に基づく論文の成功率の数字などが往々にして好きだ。全顎的な治療計画の立案においても、セファロ分析の数字に一喜一憂するような場面を目にする。

しかしそういった個々の数値に捉われすぎることなく、各種セファロ分析の特徴や歴史を知り、それぞれの分析より得たデータから、あくまでも患者固有の傾向の一部分だという事を理解した上で最終的なゴールをイメージするということが大事だと考える。

症例を通じて、共有できれば幸いである。

#### (略歴)

坂本 耕一 先生

2005年 昭和大学卒業 都内医療法人勤務

2015年 坂本歯科医院 開業

#### (所属)

包括的矯正歯科研究会 (IOS) Member, 日本歯周病学会 (認定医), EAO certification

Certificate in Implant-based Therapy

## 会員発表2 15:30-16:30 (ディスカッション含む)

演者 上野 博司 先生 座長 市川 雄大 先生

### Comprehensive Orthodontic and Prosthodontic Rehabilitation

#### －Tip-Edge テクニックを取り入れた臨床－

矯正治療を日常臨床に取り入れると、修復治療をシンプルに行うことができ、より侵襲の少ない歯科治療が可能になる。限局的な治療にはもちろん、大きな修復治療が必要な場合においてもより良好な臨床的結果を導くと考える。

治療の一手段として矯正治療を行うことにより、本来難易度が高いと思われる、様々な問題を抱えた歯や欠損へのアプローチを単純化することができる。

今回、一般臨床家としてこういった手法を取り入れたケースを供覧させていただき、包括的に矯正治療と補綴治療を行う臨床的価値を確認したい。

また、差動矯正力(Differential Force)を活用したBegg法に由来する、Tip-Edgeテクニックについても述べたい。

#### (略歴)

上野博司 先生

1996年 日本歯科大学卒業

1996年 都内の歯科医院にて勤務

1999年 上野歯科勤務

2006年 同院長

2019年 SJCD合同例会 東京支部代表選抜メンバー

#### (所属)

包括的矯正歯科研究会(IOS) Central Member, 日本臨床歯科学会(SJCD), 日本矯正歯科学会, 日本学校合学会

## 一般講演 座長 市川 雄大先生

### (自己紹介)

歯科医師免許取得後、昭和大学歯科病院 臨床研修医を経て、同校の歯学研究科 歯科矯正学の大学院に入学。研究に関しては、綿引淳一先生指導のもと、口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門にて、発生由来の異なる骨膜、軟骨それぞれにおける骨再生能に関する研究を行う。その成果を、「Differences in the developmental origins of the periosteum may influence bone healing」という題目で、Journal of Periodontal Research に掲載される。綿引先生から学んだ『臨床のみならず、研究を通して視野を広げ、エビデンスに基づく包括的な臨床を患者さんに提供する』を肝に命じ、日々研鑽に励んでおります。

### (略歴)

2007年 昭和大学 歯学部卒業

2008年 昭和大学大学院 歯学研究科 歯科矯正学入学

2012年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教(員外)

2013年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教

2014年 日本矯正歯科学会 認定医取得

2015年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教 退職

2015年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 普通研究生

2015年～2016年 AQUA 日本橋 DENTAL CLINIC 勤務(包括的矯正歯科)

現在に至る

### (所属)

包括的矯正歯科研究会 (IOS), Teeth Alignment The Specialist (副会長),

日本矯正歯科学会 (認定医), 日本口蓋裂学会 日本顎変形症学会, 日本スポーツ歯科医学会

日本顎関節症学会

## 第一回 IOS Clinical アンケート調査報告 演者 宮野 二美加先生

調査1 アライナー矯正に関して      調査2 矯正治療と歯周組織の健康に関して

(略歴)

2010年 明海大学 歯学部卒業  
2012年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 入局  
2016年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教(員外)  
2017年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教  
2019年 日本矯正歯科学会認定医取得  
2020年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 助教 退職  
2020年 昭和大学歯学部 歯科矯正学講座 普通研究生  
AQUA 日本橋 DENTAL CLINIC 勤務(包括的矯正歯科)

現在に至る

(所属)

包括的矯正歯科研究会 (IOS), Teeth Alignment The Specialist (副会長),  
日本矯正歯科学会 (認定医), 日本口蓋裂学会, 日本顎変形症学会, 日本審美歯科学会

賛助会員(全12社 順不同)

株式会社バイオデント

株式会社松風

株式会社ナルコーム

ペントロンジャパン株式会社

クインテッセンス出版株式会社

株式会社ヨシダ

株式会社白水貿易

株式会社フォレスト・ワン

デンツプライシロナ株式会社

株式会社モリムラ

ストローマンジャパン株式会社

EMS Japan 株式会社